

2 0 0 4 年 9 月 2 4 日

株式会社 富士経済  
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町  
2-5 F・Kビル  
TEL.03-3664-5811 FAX.03-3661-0165  
URL : <http://www.group.fuji-keizai.co.jp/>  
広報部 03-3664-5697

## ペット関連市場調査を実施

オムツ市場は2005年に15億円規模に(対2003年比 136%)

総合マーケティングビジネスの㈱富士経済(東京都中央区日本橋小伝馬町 社長 原 務 03-3664-5811)は、このほど、ペット関連市場をペットフード、ペットケア用品、ペット生活用品、注目ビジネスをセグメントごとに詳細に分析し、市場の実態を明確にし、将来を展望した。その結果を報告書「2004年ペット関連市場マーケティング総覧」にまとめた。現在、ペットの位置付けは愛玩動物から伴侶動物に変わり、ペットを取り巻く環境は従来と大幅に異なる形態へと進化している。

### < 調査結果の概要 >

#### 1. ペットフード関連市場(9品目) 2003年 市場規模 2,791億円

2003年のペットフード市場は微増であった。ペットフード市場の40%を占める中核のドッグフード市場が堅調に推移していることが、トータル市場の安定成長を支えている。ペットフード市場で最も高成長を遂げているのが、特別療法食であり、二桁増の快進撃を続けている。特別療法食の販路は動物病院ルートに特化しており、購買機会が限定的な側面がある。しかし、近年家族の一員として、ペットから伴侶動物への意識が強まり、ペットの健康状態や症状に応じたフードによる健康管理がなされるようになり、需要の裾野を広げている。特別療法食に次ぐ伸長率を持つのがプレミアムフードである。ペットフード市場では外資系企業の優勢が目立っているが、特に高価格帯で有望領域のプレミアムフードや特別療法食の市場で圧倒的シェアをもっている。成長段階にある特別療法食、プレミアムフードで優位性を確保することで今後もペットフード市場での外資優位の状態が続くと見られる。その他、ペット用サプリメントが高成長市場として挙げられる。人用サプリメント市場で実績のある企業の参入も活発で、本格的な市場形成が見込まれる有望市場となっている。

#### 2. ペットケア用品市場(11品目) 2003年 市場規模 438億円

少子高齢化、核家族化を背景とした室内飼育の増加により、ペットケア用品市場は順調に拡大している。中でも、猫砂、トイレ用シーツは室内飼育の必需品とされ、かつ消耗品であることから、買い換え需要に支えられ100億円を上回る大型市場を形成し、今なお、成長し続けている。ウェットティッシュやボディタオルなど洗浄関連用途の品目も高成長分野である。これら二つは共に市場形成されて間もなく、今後の本格的な市場形成に向けて拡大余地は大きいと見込まれるため、大手メーカー各社は、新製品投入に積極的に取り組んでいる。一方、ペットの高齢化の進行に伴い、オムツ市場も急拡大しており、10億円を突破して中型から大型市場への移行が期待されている。

ペットケア用品では、家庭用品を主力とする大手トイレタリーメーカーの派生展開による参入が多いこと、また小売店によるPB製品が多いことが特徴となっている。大規模市場を形成する猫砂やシーツについては、小売店PB製品が既に浸透しており、低価格で販売されていることから、メーカー・ブランド品についてもPB製品との競合上、価格訴求が強まる傾向となっている。

#### 3. ペット生活用品市場(13品目) 2003年 市場規模 350億円

ペット生活用品は元来、屋外使用タイプの製品が主流であったが、近年の室内飼育が増加したことにより、室内用製品へとシフトしている。ハウスやケージ類も屋外用から室内用主体へ転換しており、屋内用ベッドなどが小規模ながらも高成長領域へと浮上してきている。更に室内飼育に関連してシステムトイレという新規カテゴリーが登場し、トイレ市場を新たな形で活性化させている。

近年の小型犬の増加にともなって、ペット用衣類や、玩具類などでデザイン性を重視した製品の投入が活発になっている。可愛らしさやファッション性を訴求した製品が、主として女性オーナー層に受け入れられ需要拡大が進んでいる。

#### 4. ペット市場 注目ビジネス

ペット保険 2003年加入者数実績 14万件 2005年予測 48万件

近年ペットに対する伴侶動物意識が根付き、ペットに費用を掛けて治療するといった飼い主も増加している。ペット保険の認知度は急激に高まり、その必要性から市場は急激な拡大を続けている。海外では、ペット保険加入者数の割合がペット所有者の10%台になる国も見られるが、国内ではペット保険が認知されてからの期間も浅いことから、未だ1%未満に留まっている。飼い主の信頼を今以上に得ることで加入比率は拡大し、大規模市場へと発展していくと予測される。現在は成長期の入口と捉えられ、加入件数の拡大に伴う金額の拡大幅も大きいと思われる。

<ペット関連注目市場>

##### 1. プレミアムフード 2003年市場規模 445億円 2005年予測 494億円(対03年比111%)

ペットフード市場で高価格帯製品と低価格帯製品との二極化が進行する中、高機能付加製品のニーズは確実に増加しており、プレミアムフード市場は拡大傾向にある。しかし有力企業が量販店チャンネルへと進出していることから、量販店チャンネルにおけるプレミアムフードの価格競争が進んでおり、従来までの「プレミアムフードは専門店商材で値崩れしない」という概念は変化しつつある。高機能性フードの購買層が、プレミアムフードからエコノミーラインへと切り替えるケースは少ないが、プレミアムフードが量販店で流通していくことに伴い、ユーザーの目に入る機会は確実に増加しており、量販店展開のプレミアムフードへと切り替える可能性は高いと考えられる。

##### 2. 特別療法食 2003年市場規模 107億円 2005年予測 122億円(対03年比114%)

動物病院で獣医師が販売する動物用医薬品については、ノミ・ダニなど害虫駆除薬を中心にシーズン性の高い製品が多い。特別療法食に関しては、通年で安定したニーズが存在していることから、動物病院、動物薬卸で利益商材として位置付けられている。飼い主の特別療法食に対する認知度、必要性意識は高まってきている。またメーカー側で獣医師を対象としたセミナーを積極的に開催してきたことにより、動物病院においても特別療法食の栄養面や、利益面での必要性意識が高まった。双方とも特別療法食が必要不可欠な製品であるという意識が根付いてきている。

\* 特別療法食・・・各種疾患を抱える犬・猫の栄養管理を目的としたフードであり、流通経路は獣医師ルートに限定される。

##### 3. オムツ市場 2003年 11億円 2005年予測 15億円(対03年比136%)

2003年における犬の年齢別分布によると(ペットフード工業会による)高齢予備軍ともいえる6、7歳の犬が32%を占めている。今後数年間は、ペット専門のオムツ使用ユーザーは拡大が見込まれ、安定した市場拡大が期待できる。

##### 4. トイレ用シーツ市場 2003年 137億円 2005年予測 173億円(対03年比126%)

2003年より有力企業が新商品を投入し潜在層を顕在化させた事で、市場は拡大傾向にある。今後は、引き続き室内飼育の増加に伴い、市場の拡大が見込まれている。一方で高齢犬のウエイトも高まっていくことから、オムツ市場との競合の可能性が出てきている。そのため、吸収力・消臭力・手間がかからないなどの機能を付加した製品開発が重要な要素となってくる。

##### 5. 衣類 2003年実績 23億円 2005年予測 30億円(対03年比130%)

小型犬の飼育が増えるとともに、ペットを擬人化する傾向が一層進み、ペット用衣類に対するニーズは年々高まっている。チワワやマルチーズなどの小型犬の生体数が、今後も安定して増加していくことが予想されることや、一匹のペットに対する衣類の数が増えていることも含めて、生体数の伸び以上の市場拡大が見込まれる。衣類を着せることにより、ペットの体感温度が狂い、うまく体温調節ができないなど何らかの支障が生じてしまうことも想定され、夏に体温を下げる素材や冬は急激な温度差を避けるためのコートなど、機能性の高い素材による製品開発が必要となっている。

**調査対象**

## &lt;対象品目&gt;

カテゴリー	調査対象品目
ペットフード	ドッグフード、キャットフード、プレミアムフード、スナック類、観賞魚用フード、小鳥・観賞鳥用フード、小動物用フード、サプリメント、特別療法食
ペットケア用品	猫砂、トイレ用シート、オムツ、ウェットティッシュ、忌避剤、消臭剤/脱臭剤、防虫剤/殺虫剤 医薬品、シャンプー/リンスインシャンプー/リンス/トリートメント
ペット生活用品	首輪/胴輪/引紐、ハウス、水槽/周辺器具、ベッド、マット、トイレ、キャリングケース、ケージ/サークル ブラシ/クシ、食器/給餌器・給水器、玩具、衣類、ペット用家電
注目ビジネス	ペット保険、マイクロチップ/リーダー、ペット専用遠隔監視サービス、コミュニケーション機器 ペット用位置情報サービス

## &lt;小売店事例編&gt;

総合スーパー、スーパーマーケット、ホームセンター、ドラッグストア、ディスカウントストア、通販会社 30 社

**調査期間**

2004年6月～8月

**調査方法**

富士経済専門調査員による直接面接取材

資料タイトル：「2004年ペット関連市場マーケティング総覧」

体 裁：A4判 271頁

価 格：100,000円(税込み105,000円)

CD-ROMセット価格110,000円(税込み 115,500円)

調査・編集：富士経済 大阪マーケティング本部 ペットプロジェクトチーム

TEL:06-6228-2020 (代) FAX:06-6228-2030

発 行 所：株式会社 富士経済

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町2 - 5 F・Kビル

TEL03-3664-5811 (代) FAX 03-3661-0165 e-mail:koho@fuji-keizai.co.jp

この情報はホームページでもご覧いただけます。URL:<http://www.group.fuji-keizai.co.jp>